

令和3年度 入試過去問題

彫刻専攻

総合型選抜

第1次選考：書類審査

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

試験科目 自己アピール資料審査

評価基準

想像力と造形力を総合的に判断する。

【自己アピール資料の内容】

A (活動記録・作品)

これまでの自主的な活動記録や作品を自由にまとめてください。

(サイズ：A3サイズで提出枚数は自由)

B (表現又は提案)

「平原」をテーマに自由に発想し表現してください。

- ・立体作品として制作してください。
- ・提出は、3方向から写した写真によることとし、それぞれA4サイズとします。
- ・作品に関するコメントを400字以内で記し、添付してください。

第2次選考

試験科目 小論文

評価基準

論理的な思考力と文章表現力をみる。

試験問題：目の前の彫刻はイタリアを代表とする具象彫刻家、エミリオ・グレコ（1913年～1995年）が大聖堂の門扉レリーフとして制作した作品の一部です。これから10分間この彫刻を鑑賞した後に試験室に戻り、ここで作者が何を表現したかったか、その意図を推察し、配付された回答用紙に1200文字以内で記して下さい。鑑賞の際に、配付されたメモ用紙にメモを取り、筆記の参考にしても構いません。
尚、試験問題とメモ用紙は試験終了時に回収します。

注意事項

辞書類の使用は不可。鉛筆（シャープペンシル）を使用。



出題の意図：対象を見て感じたことや考えたことを論理的にまとめ、文章で表現できるかを問う。

試験科目 面接

評価基準

立体造形制作への意欲・資質をみる。

内 容：第1次選考試験・自己アピール資料を参考に試問

令和3年度 合格者（入学者）作品

彫刻専攻

一般選抜

試験科目 素描

- ・木炭又は鉛筆、併用も可
- ・試験用紙(木炭紙、画用紙)を配付時に選択

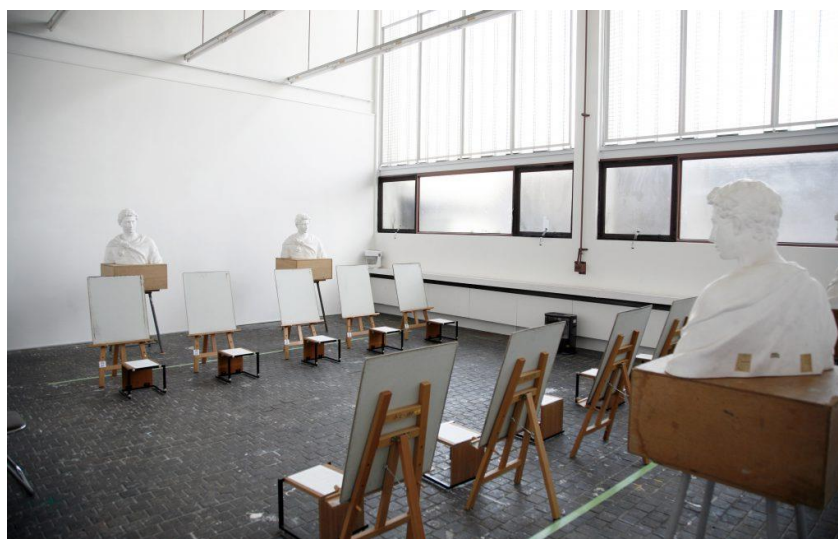
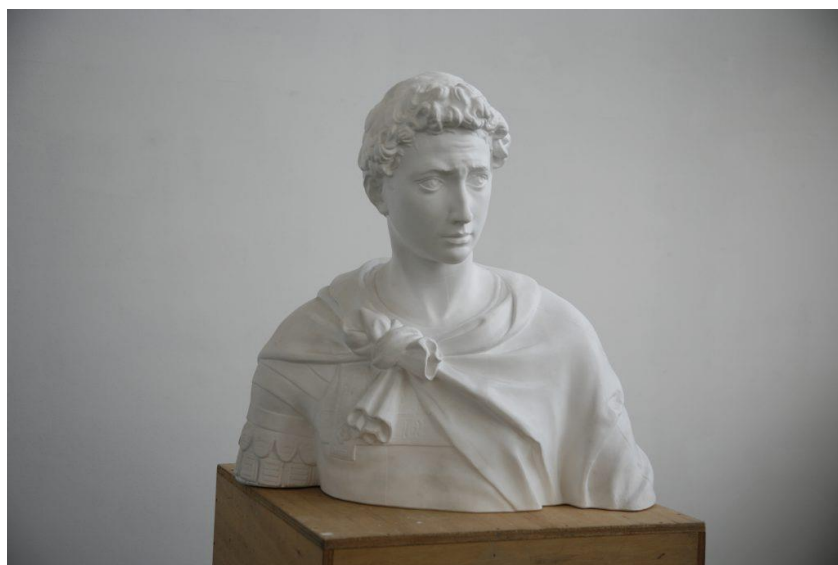
評価基準

基礎的な描写力と表現力をみる。

モチーフ：ジョルジョ

配付物：木炭紙又はM画用紙

問題文：台の上の石膏像を素描しなさい。







試験科目 塑造

評価基準

立体造形力と感性をみる。

モチーフ：自分の手、ぶなしめじ

配付物：粘土(15 kg)、塑造板、心棒(金属)、心棒用木材、ベニヤ板(粘土硬さ調整用)、針金(8番,10番)、しゅろ縄(太,細)、塑造道具等

問題文：「エネルギー」をテーマに、ぶなしめじと自分の手をモチーフとし、自由に塑造しなさい。

*ぶなしめじに手を加えても構いません。

